

事務事業評価表 平成23年度

政策 豊かさ創造性を育む生涯学習環境の充実  
 施策 子どもの可能性を伸ばす教育の充実  
 基本事業 教育内容の充実

事業名 **教育研究会事業**

[0395]

部名	教育部	事業開始年度	- 年度	実施計画事業認定	非対象
課名	学校教育支援室 学校教育課	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	<p>(誰、何に対して事業を行うのか)</p> <p>江別市教育研究会</p>
意図	<p>(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>江別市教育研究会の活動を安定的、継続的に実施し、研究活動等を通じて教職員の研修等を進め、資質の向上を図る。</p>
手段	<p>(事務事業の内容、やり方、手段)</p> <p>江別市教育研究会が行う事業の経費の一部を補助する。                      事業例 学校課題等研究費、障がい児学級作品展等開催経費、事務局運営費など</p>

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	20年度実績	21年度実績	22年度実績	23年度当初
対象指標1	教育研究会所属教員数	人	638	643	635	619
対象指標2						
活動指標1	補助金額	千円	5,200	5,200	5,200	5,200
活動指標2						
成果指標1	研修会等開催日数	日	169	175	180	224
成果指標2						
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	5,200	5,200	5,200	5,200
正職員人件費 (B)		千円	836	830	806	815
<b>総事業費 (A) + (B)</b>		<b>千円</b>	<b>6,036</b>	<b>6,030</b>	<b>6,006</b>	<b>6,015</b>

費用内訳	
22年度	負担金 補助及び交付金 5,200千円

# 事業を取り巻く環境変化

事業開始背景		事業を取り巻く環境変化	
--------	--	-------------	--

## 22年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

- 義務的事務事業
- 妥当である
- 妥当性が低い

理由・  
根拠は？

小中学校教職員の研究活動等は、義務教育を支える重要なものである。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

- 貢献度大きい
- 貢献度ふつう
- 貢献度小さい
- 基礎的事務事業

理由・  
根拠は？

研究活動は教職員の資質の向上をもたらし、授業等に反映される。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由、でていない理由は何ですか？

- あがっている
- どちらかといえばあがっている
- あがらない

理由・  
根拠は？

会員が所属する各部門で研究や発表を行っており、さまざまな場面で生かされている。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

- 成果向上余地 大
- 成果向上余地 中
- 成果向上余地 小・なし

理由・  
根拠は？

教職員が課題研究活動や研究成果の発表などを行い、指導力向上に努めている。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

- ある
- ない

理由・  
根拠は？

研究活動項目が多岐に渡っており、コスト削減は難しい。